

子どもたち あいどる	一五〇号	発行 社会福祉法人 路交館広報部 発行責任者 尾 埜 健 二 編集 集 あいどる編集委員会(明智・隠岐) 〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5 TEL06-6321-3201 FAX06-6321-2977 ホームページアドレス https://www.rokoukan.or.jp 掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。
----------------------	-------------	---



あけまして おめでとうございます



日頃より路交館の活動を応援し、関心を寄せていただいている皆様に改めて感謝申し上げます。

私事ではありますが、昨年二人息子のうちの次男が18歳になりました。日本社会では成人として扱われる年齢です。進学率が高くなってきた今、成人といえどももうしばらく援助は必要でしょうが、それでも一つの大きな節目を迎えたことには感慨深さを覚えます。

子育てを振り返ってみて感じることは、私がいただいた子育てと、私自身が行ってきた子育てはずいぶん違うものであったということです。

私は母親が専業主婦で祖父母もいる大家族の中で育ちましたが、私の子育ては夫婦共働きの核家族で行わ

れました。家庭の形、夫婦関係の在り方などだけでなく、あらゆるものがここ数十年の間に大きく変化しています。私たちが「こうあるべきだ」と教えられてきた常識の多くが、今では非常識となっています。

このような変化の時代の真ただ中において、路交館が目指す「誰もが自分らしく生きることのできる社会」のために、私たちは何を変えなければならないのか、また何を守っていかなければならないのか、応援し関心を寄せてくださる皆様と共に考え続けていきたいと思えます。今年もよろしくお祈りします。

社会福祉法人 路交館 理事長 尾 埜 健 二

日韓保育交流30周年

日韓保育交流の始まりは、1992年8月、日本(大阪)の保育施設(望之門保育園、保育所聖愛園、大阪聖和保育園)の関係者たちが、韓国(ソウル及び光州)を訪問した事がきっかけとなりました。

このとき、日本(大阪)の保育施設の関係者たちは、韓国の保育士や保育運動関係者たちとの出会いと交流を通じて、韓国の保育運動の新鮮さと情熱に深い感銘を受け、韓国の保育関係者たちは長い間、保育の現場で黙々と、たゆまずに保育の課題を実践してきた日本の保育関係者たちの経験と事例を学ぶことができたそうです。

そして、翌年の1993年、「光州」地域の保育教師(保育士)たちを大阪の保育施設に招いたことが日韓保育交流の始まりでした。

それから30年間、新型コロナウイルスの影響で交流がストップしていた時期もありましたが、日本と韓国の間で保育交流を続けてきました。そして、2023年11月4日に日韓保育交流30周年記念大会を開催することが出来ました。今年は韓国から9名の研修生が来られ、聖愛園と豊新聖愛園に各1名ずつの実習生が約1週間各園の保育を体験しました。

日韓保育交流の目的は「人間的交流」です。問題を解決する方式や方法は、多少の相違点もあると思いますが、子どもたちの健やかな成長のために努力しなければならない、ということが共同の目標です。私たちは、保育交流を通して各自が、相互に違う環境にありながらどんな方式で解決の糸口を探し出すのか、お互いを観察し、学び、激励しあいながらこの保育交流を行ってきました。

このように国を超え、文化を超え、人種を超えて30年という長い年月行われてきた日韓保育交流。過去を蔑ろにすることは出来ませんが、様々な出会いと経験をもって次の40年に向けて進んでいきたいと思えます。

文責：小西 雄太

日韓保育交流 ～ようこそ、淡路聖愛園へ！～

淡路聖愛園では、ソウル市内の保育園からハンヒョンソン先生という方が来られ、こすもすぐみ(3.4.5歳児たてわりクラス)で研修をされました。

担任から「韓国の先生が来るよ」と子どもたちに伝え、翌日から「いつ来る?」「どんな人?」「英語しゃべる?」と興味津々で、先生が来る日を心待ちにしていました。

大人は「言葉が通じないしな…」と躊躇してしましますが、子どもたちは「どっから来たん?」「いつまでおるん?」「英語話してる!(実際は韓国語)」とどンドン話しかけ、通じなくても言葉がなくてもスキンシップや行動でかわりをもっている姿を見ると、言葉の壁は大きな問題ではないんだと改めて気づかれます。

また保護者の方からは「異文化との交流、そんな機会に触れることが出来るのはとても嬉しいです」との声を掛けてもらい、こすもすぐみ以外のクラスの子も、お迎えに来た保護者の手を引いてヒョンソン先生を紹介していたそうです。

韓国と日本は隣の国でもあります、政治的に言うとうまくいかないことや歴史もあり、捉え方は様々かと思えます。けれども、一市民の私たちは同じ保育をする仲間、子どもの育ちや未来を考える仲間としても互いの交流をこれからも大事にしていきたいと日韓保育交流会を行う中で改めて感じました。

文責：植田 早苗



幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園

豊新聖愛園にはソウル市内の保育園からイ・ミジョン先生が研修に来られました。主に3・4・5歳児のたてわりクラスに入り、クラスの子どもたちはミジョン先生がどんな人だろうかと積極的に関わりを持とうとしていました。簡単な韓国語での挨拶も子どもたちと予習していましたが、お互いに気兼ねなく自身の母国語で声をかけあい、わからなくても表情や仕草などから気持ちを汲み取りながら関わる姿が印象的でした。

今回は豊新聖愛園を利用されている保護者の中に韓国出身の方がおられ、ミジョン先生と職員との通訳をしていただいたことで、ミジョン先生は夜間保育のある豊新聖愛園のことや日本のことを、私たちは韓国のことを、お互いにより深く知ることができました。それによって日本と韓国の子どもたちの姿、保護者の想い、保育者たちの想いなど、たくさんの“違い”があることに気づきました。その中でミジョン先生から私たちの“子ども主体の保育”が面白いと言っていた、その保育がやはり大切であるということ再認識しました。

私たちがミジョン先生も文化的な背景や教育・保育の違いはありますが、子どもたちの未来を考える役割を担っていることは同じです。子どもたちがミジョン先生と言葉だけでなく気持ちで繋がっていったように、私たちが対話を大切にしながら繋がっていきたく感じました。

文責：宮本 裕



日韓インクルーシブ交流

2017年に路交館障がい系事業所も保育系の日韓保育交流のような取り組みが出来たらいいなという思いで、韓国在住の金徳煥氏に依頼して、交流の場探しを行ってきました。かつて、日韓保育交流で研修生として聖愛園に来日されたイ・ウネさんが、2017年当時、ソウル市社会経済支援センターのセンター長をされていたこともあり、イ・ウネさんを頼って、ソウルにある「木と果実」を紹介してもらいました。「木と果実」は、障がい児の親を中心に立ち上げた事業所です。しかし、路交館が目指す地域とのインクルーシブ支援を韓国の地で目指していて方向性が近いこともあり、路交館障がい系事業所は、2018年から本格的な交流を始めました。この間、「木と果実」から2回、路交館から1回の研修生を送り出し、今後も相互研修を行う予定でいました。しかし、2020年に世界的に流行した新型コロナウイルスの影響もあり、交流はもとより渡航自体が制限されるようになり、「木と果実」との交流がこの3年近く途絶えました。

2023年、新型コロナウイルスと共存する世界的な動きの中、日韓の相互交流がコロナ前のように戻りつつある中、「木と果実」との交流を6月25日～6月30日に2名の研修生を押し出し、日韓インクルーシブ交流再開を果たしました。

【2023年度研修生 守口障がい系ういず滝井北野美絵 感想より（一部抜粋）】

・「個別」「集団・仲間づくり」の話が多く出た

→「集団・仲間づくり」の単語が出るたびに、「木と果実」の職員の方の表情が少し変わる印象を受けました。

・パク・ソヨンさんの母に「ソヨンに個別は必要ないですか？」という意味合いの事を聞かれたのが印象に残っています。

自分が答えた事

・おやつ食事介助などは職員が1対1ですと思います。ただ、そこに他のメンバーさんがいれば、例えば今回私に関わらせてもらった場面で考えると、「ソヨンさんは、今日何でおやつを食べないのかな？」「キウイが嫌いなのかな？」「初めての人だから食べないのかな？」等、みんなで話さず、みんながソヨンさんの事を知れる事ではないかと思いました。また、そんなにぎやかさもソヨンは感じるのではないかと思います。

今回の実習では、職員さんが一人ついてくれ、丁寧に色々な事を教えてくださいました。「木と果実」では、プログラムの時間までに、若い職員同士がとてもよく話し込み、丁寧なプログラム計画を作って支援を行っている点は学ぶ所だと感じました。そして、職員の方がとてもよく動かれていました。長く一つの場所で働いていると、慣れから、段々と大雑把になっていたり、「この人はこうだろう。」と分かった気になって支援することも増えてきていると思います。その意味で、路交館10年目というこの節目の年にこの研修に行かせてもらってとても良かったと思いました。

文責：川瀬 健作



幼保連携型認定こども園あすなろ ～夜間保育 おうち～

おうち保育では、0歳～小学生の子どもたちが一緒に過ごしています。昼間は小学校や学童保育で頑張っている子どもたちが、夕方はおうちの部屋に帰ってきて毎日夕食を食べています。小さい子は大きい子たちの遊びを真似っこしたり、大きい子は小さい子を自分たちの弟妹のように関わっています。また夜ならではの夜桜や夏のお祭りといったお楽しみをしています。お迎えに来るまではお風呂に入ったり、お布団に入っていたりと疲れた体を休めて、また次の日も楽しんで過ごせるようにしています。

文責 夜間保育あすなろうち担任 村井 優



夜桜を見に行ったよ～！
みんな頑張って歩いて見る桜は最高！



みんな楽しんでもう屋台さん！
いっしょに走りに迷っちゃおう！



一緒に花火をしよう！
夜のお楽しみ！



ちょっぴりキドキ～ハロウィン！
みんな仮装してレッツゴー！

東淡路子ども館 学童 つくしクラブ(低学年クラス)

つくしクラブでは小学1年生～3年生の子どもたちが在籍しており、3年生がクラスの中心になって活動しています。日々の生活のなかで関係を作っていく、様々な行事を友達と一緒に作り乗り越えていく中では意見が合わなかったり、言いたいことが言えず悩んだり、喧嘩したりとたくさんのトラブルも起こります。その度に立ち止まりみんなで考え、前に進む子どもたち。自分のことを知ってもらい、友達のことを知っていくながら一人では難しいことも友達と一緒に楽しめる楽しさや達成感を感じられるような仲間作りをしています。

宿泊行事やうんどう会、発表会などの行事だけでなく、3年生が企画してくれるイベントなどたくさんの経験を友達と一緒に楽しんでいます☆日々の中で子どもたち同士がありのままの姿でぶつかり合いながらも、お互いを認め合っている関係ができているからなのだと思います。冬も外出活動や宿泊行事と思いっきり楽しめます！

文責：つくしクラブ担任 福井優子



土曜日はクッキングをして
自分たちのお昼ご飯を作ります♪



夏のキャンプ。
力を合わせてテントを立てます！



3年生企画の水鉄砲大会！



うんどう会。
団長の声掛けから始まる応援合戦！

貸借対照表
2023年3月31日現在

貸借対照表		(単位:円)
勘定科目	全体	
流動資産	550,575,906	
現金預金	265,514,067	
事業未収金	223,088,769	
未収金	57,065,431	
原材料	1,084,962	
立替金	1,557,685	
1年以内回収予定長期貸付金	442,002	
仮払金	3,500,000	
徴収不能引当金	-1,677,010	
固定資産	1,284,760,899	
基本財産	990,436,867	
土地	203,046,052	
建物	787,390,815	
その他の固定資産	294,324,032	
土地	16,756,361	
建物	40,696,189	
構築物	30,357,258	
機械及び装置	12,470,493	
車輛運搬具	568,675	
器具及び備品	20,652,244	
有形リース資産	5,611,692	
ソフトウェア	5,875,006	
無形リース資産	2,801,376	
長期貸付金	4,637,045	
退職給付引当資産	90,286,200	
長期預り金積立資産	1,700,000	
保育所施設・設備整備積立資産	35,500,000	
工賃変動積立資産	1,185,089	
設備等整備積立資産	3,732,406	
施設・設備整備積立資産	14,000,000	
差入保証金	7,344,000	
長期前払費用	149,998	
資産の部合計	1,835,336,805	
流動負債	187,831,991	
短期運営資金借入金	58,184,094	
事業未払金	19,245,719	
1年以内返済予定設備資金借入金	27,627,200	
1年以内返済予定長期運営資金借入金	4,320,000	
1年以内返済予定リース債務	4,679,496	
預り金	13,504,761	
職員預り金	5,330,721	
賞与引当金	54,940,000	
固定負債	493,674,943	
設備資金借入金	331,715,600	
長期運営資金借入金	48,600,000	
リース債務	3,733,572	
退職給付引当金	107,925,771	
長期預り金	1,700,000	
負債の部合計	681,506,934	
基本金	328,786,727	
基本金	328,786,727	
国庫補助金等特別積立金	332,796,502	
国庫補助金等特別積立金	332,796,502	
その他の積立金	54,417,495	
保育所施設・設備整備積立金	35,500,000	
工賃変動積立金	1,185,089	
設備等整備積立金	3,732,406	
施設・設備整備積立金	14,000,000	
次期繰越活動増減差額	437,829,147	
次期繰越活動増減差額	437,829,147	
(うち当期活動増減差額)	69,215,270	
純資産の部合計	1,153,829,871	
負債及び純資産の部合計	1,835,336,805	

事業活動計算書
(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

事業活動計算書		(単位:円)	
勘定科目	全体		
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	951,232,747
		就労支援事業収益	16,896,559
		障害福祉サービス等事業収益	1,151,009,859
		太陽光発電事業収益	2,443,012
		経常経費寄附金収益	1,076,562
	サービス活動収益計(1)	2,122,658,739	
	費用	人件費	1,565,527,851
		事業費	155,655,405
		事務費	257,463,629
		就労支援事業費用	27,024,340
利用者負担軽減額		1,232,600	
減価償却費	66,006,067		
国庫補助金等特別積立金取崩額	-14,538,637		
徴収不能額	73,882		
徴収不能引当金繰入	1,438,443		
サービス活動費用計(2)	2,059,883,580		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	62,775,159		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	107,245
		その他のサービス活動外収益	51,475,202
		サービス活動外収益計(4)	51,582,447
	費用	支払利息	3,983,837
		その他のサービス活動外費用	42,277,243
サービス活動外費用計(5)	46,261,080		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,321,367		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	68,096,526		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	6,047,000
		施設整備等寄附金収益	2,496,500
		固定資産受贈額	
		その他の特別収益	15,052
		特別収益計(8)	8,558,552
	費用	基本金組入額	1,132,500
		固定資産売却損・処分損	260,308
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	
		国庫補助金等特別積立金積立額	6,047,000
		その他の特別損失	
特別費用計(9)	7,439,808		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,118,744		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	69,215,270		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	361,613,877	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	430,829,147	
	基本金取崩額(14)		
	その他の積立金取崩額(15)	7,000,000	
	その他の積立金積立額(16)		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	437,829,147		

★寄附のお願い

当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。お寄せいただいた寄附金は、各施設の施設・設備整備、借入金の返済等に使用させていただきます。皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

☆2018～2022年度として、以下の方々よりご寄附をいただきました。
ありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。(敬称略、順不同)

島村恵津子、大山道子、浅田和義、路交館フェスタ委員会、大阪幼保センター 田上清美、館山英夫、山中多美男、社会福祉法人大阪自彊館 メゾンリバルテ、日佐和夫、枝本佐和子、(有)共栄社印刷、中本行則、(有)淀川技研工業、桑山善右衛門、半田豊美、新生クリニック 廣吉康秀、吉川新一、林光行、田中進三、岡戸淳子、(株)協和商事 小谷弘次、海鷗トラベル(株)、日本基督教団大阪淡路教会、ライフウカイ 鶴飼考三、大阪青山大学・大阪青山短期大学部 学長 久田敏彦、日本保育協会大阪支部、小谷、大阪府社会福祉協議会、滝井地区福祉委員会、里内理純、田端啓三、川上俊輔、塩毛誠司、ホワイトティ梅田、エイビイシイ保育園 片野清美、インクルーシブ教育研究所、法人職員 151名
その他匿名でご寄附をいただいた皆様。
各事業所に設置しました募金箱にもたくさんの募金をいただきました。ありがとうございます。

社会福祉法人路交館 ういず守口 クロスロード

クロスロードは、守口市京阪商店街にある焼き菓子の製造・販売をする就労継続支援B型のお店です。2021年9月には大阪版食の安全安心認証制度で大阪府に認証されました。

職場という環境のもと、多様な出会いの機会や経験を意図的に作ることで、《自分で学ぶ力》・《自分で考える力》を培い、障がい者の【自立・社会参加】を支援している事業所です。

焼き菓子の製造・販売の仲間だけではなく、自分の出来る仕事をする事で輝き、自身に繋がるような様々な内職作業等にも取り組むことで、多様な仲間作りをしている職場です。



こち珈琲店

【月～土・9:30～17:30】
聖愛園の向かい側ほっとコミュニティ
ういる1Fにあります。

●モーニング9:30～12:00●
・コーヒーなどのお好きなドリンク
・チーズトーストなどのお好きなトースト
・ヨーグルト
お子様に大人気「駄菓子コーナー」は、
大人にはとっても懐かしい空間になっ
ています。
ぜひお立ち寄りください！

パン工房 桜の園

桜の園は、八雲北町にある多機能型事業所
です。障がいをもつ利用者さんと一緒にパンを
作って販売しています。

定番商品のメロンパンや塩パンから、季節ご
とに変わりますが、今はチョコデニッシュやチー
ズインデニッシュが人気です。

特に、食パンはもちりりとあっさり2種類が
あり、そのままでもおいしいですが、焼くとより
一層おいしく食べていただける人気商品となっ
ています。

毎週水曜日は桜の園にて、11時～14時まで
販売しています。他にも、守口市役所やコミュ
ニティセンター、図書館などでも販売しています。
是非、桜の園や店頭へ足を運んでください。

今後の予定

★「障がい児」共同保育50周年記念大会 2024年1月7日(日)



あしあと



保育系

(聖愛園・あすなる・どんぐり・つくしクラブ・杉の子クラブ・豊新聖愛園・
豊新つくしクラブ・北丘聖愛園・子育てプラザ・ポプラ・さくらんぼ)

4月 入園式(聖愛園・豊新・北丘)

6・7・8・9月

園内一泊保育・琵琶湖一泊保育

五月山登山・有馬富士登山

つくし・杉の子キャンプ

10月 うんどうかい・

ポプラキャンプ

11月 日韓保育交流30周年記念大会

みのりちゃんminiフェスタ(子育てプラザ)

12月 生活発表会(聖愛園・豊新・北丘)

障がい者系

(ウイリッシュ・ほっとコミュニティういる・ういず守口・ういず滝井・
桜の園)

4月 入社式

6月 日韓インクルーシブ交流

7月・8月 地域の夏祭り

9・10・11月

宿泊旅行

7月・11月 うんどうかい

10月・11月 地域の秋祭り

編集後記

新しい年が始まりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか？

今回は各事業所の様子やアピールポイントを中心に紹介させていただきました。全ての事業所に、それぞ
れ見てもらいたいところがたくさんあります。機会があれば、ぜひ遊びに来てくださいね。今回載せられ
なかつた魅力もまだまだあるので、今後も発信していきたいと思ひます。ご期待ください！

担当：明智・隠岐